

■危険な場所を避けて避難

- 大雨や大地震のときは、危険な川や崖の近くを避けて避難しましょう。
- 水が溢れているところを歩くときは、マンホールや側溝に落ちないように気をつけましょう。
- 洪水のときに丈夫な建物の2階以上にあがることや、台風や竜巻が接近しているときはおやみに外に出ないことも避難の一つです。

■避難場所を決めておきましょう

- 自宅や職場に近い場所の避難所を確認しておきましょう。
- 安全な場所に住んでいる親戚や友人宅も避難先の候補として考えましょう。

■避難情報の入手方法

＜＜ 防災行政無線 ＞＞

町内4か所に設置した防災行政無線屋外受信機（スピーカー）からサイレンやアナウンスを放送します。

＜＜ 広報車の巡回 ＞＞

避難が必要な地区を中心にスピーカーをつけた車で巡回します。

＜＜ 町ホームページ ＞＞

避難勧告や避難所の開設情報、被災状況を掲載します。

＜＜ 緊急速報メール ＞＞

町から携帯電話やスマートフォンの対応機種へ一斉に避難情報などの緊急情報を送信します。

緊急速報メールは普段聞きなれない音が流れますので、その際にはすぐに情報を確認してください。

＜＜ 地上デジタル放送 ＞＞

NHK総合放送でリモコンの「d」ボタンを押すと防災情報を見ることができます。避難情報のほか、気象情報や河川の水位も確認できます。

＜＜ 登録制メール（導入予定） ＞＞

町では今年度、登録制のメール配信システムを導入し、被災情報や災害時のライフラインの情報など、きめ細やかな情報提供を目指します。準備ができ次第お知らせします。



昭和50年の大水害。林友方面で床上浸水被害が発生

いま、置戸町では

■置戸町地域防災計画の修正

町では、東日本大震災を教訓とした国の防災対策や北海道の防災計画改訂を踏まえ、町の災害対策の基本となる現在の「置戸町地域防災計画」をより実効性のある計画とするために修正作業を行っています。

■防災用品の整備

昨年の大規模停電や東日本大震災の教訓を生かし、防災用品の整備を進めています。整備するものは、ストーブや発電機、スコップなどの資機材、紙おむつや医薬品などの日用品、水や災害時用の食料などです。

【詳細】町づくり企画課企画係（☎52-3312）